

ハリオアマツバメ

Hirundapus caudacutus (Latham)

アマツバメ目アマツバメ科

石川県カテゴリー 情報不足

国カテゴリー なし

選定理由

繁殖期に白山ろくで観察され繁殖が予想されるが、詳細はわからず、情報収集が必要である。

形態

全長21cm、雌雄同色。全身ほぼ黒褐色だが、額、喉、下尾筒が白い。

国内分布

夏鳥として本州中部以北に渡来し、本州では山地で、北海道では平地でも見られる。春夏の渡りの時期には本州以南の平地でも見ることができる。

県内分布

従来、春秋の渡りの時期にのみの記録だったため旅鳥とされていたが、近年白山ろくなどで繁殖期も観察されるようになり、繁殖の可能性が出てきた。

生態

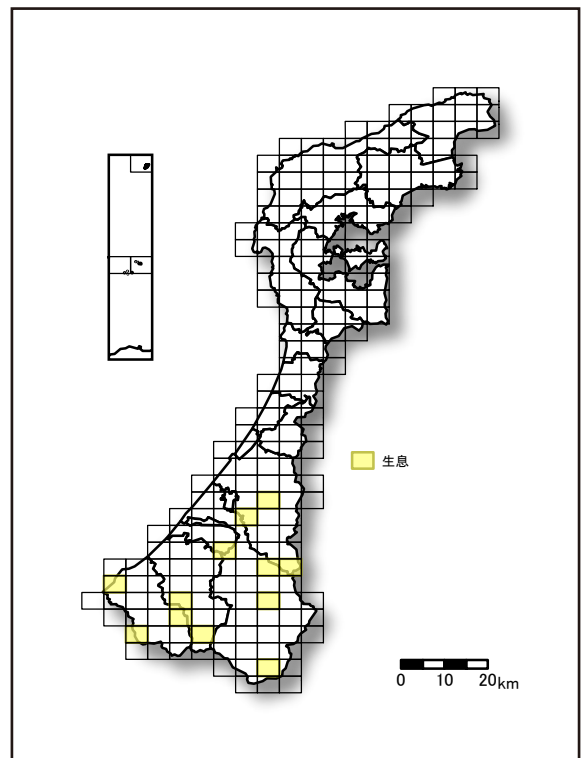
繁殖期以外は常に空中生活を送り、地上はもちろん樹木に止まる事さえ、ほとんどないと言われている。繁殖期は大きな木の樹洞内で営巣する。

生息地の条件

営巣木となる大木の存在。

生存の危機

実態はよく分かっていない。(D)



県内の分布